

MRI検査を受けられる方へ

※ 検査を受けられる前に必ずお読みください。

MRI検査は、強力な磁石と電磁波を利用して身体の断面や血管の撮影を行う検査です。
専用の検査着に着替え、狭いトンネルに入り、大きな音がする中で検査を行います。

1. MRI検査の禁忌事項

下記に該当する方は検査を受けることができない可能性があります。必ず担当医にお申し出ください。

心臓ペースメーカー (検査不可)	体内除細動器(ICD) (検査不可)	金属製の人工心臓弁 (1970年以前のものは検査不可)
ステント・ステントグラフト (手術後8週間以内のものは検査不可)	下大静脈フィルター (手術後6週間以内のものは検査不可)	人工内耳 (検査不可)
脳動脈クリップ (MRI非対応は検査不可)	脳脊髄液短絡術用圧可変式シャント (脳室腹腔シャント)	神経刺激装置
体内に磁石に付く金属(磁性体)がある方		

※ 他の医療機関で体内に金属や装置を埋め込まれている方は、手術をされた医療機関にMRI検査が可能であるか確認してください。お手数ですがご協力をお願いします。

- ☆ 職歴・軍歴・外傷等で体内(眼科、皮下)に金属の破片のある方
- ☆ 閉所恐怖症のある方
- ☆ 妊娠中または妊娠の可能性のある方
- ☆ 入れ墨、タトゥー、アートメイクをしている方
- ☆ 磁石式歯科インプラント、義眼の方
- ☆ 上記以外で、取り外しのできない金属・装置がある場合もお申し出ください。

2. 注意事項

次の物は検査の支障となるため、検査前に外していただきます。

(1) 金属について

金属(磁石に付くもの)を身につけていると、画像が乱れ検査に支障をきたすだけでなく、MRI装置に吸着する可能性があり大変危険です。取り外せる金属類はすべて外して検査を行います。

例) 時計、眼鏡、アクセサリ、入れ歯、ヘアピン、ベルト、財布、鍵、金属が付いた下着、義足 など

(2) 体に貼り付けるもの

やけどの恐れや薬効に影響を及ぼす可能性があります。貼り薬は検査前にはがしていただきます。

※ インスリンポンプ・持続グルコース測定器は、検査前に必ず取り外してください。

例) 湿布、エレキバン、ニトロダームTTS、ニコチネルTTS、ニュープロパッチ、ノルспанテープ
鍼治療シール、磁気シール、フェントステープ、フェンタニルテープ など

(3) ネイルアートについて

マグネットネイル・ミラーネイル：検査ができません、あらかじめ外した状態で検査にお越しください。

ジェルネイル：素材によって火傷・変色の可能性があります。なるべく取り外してください。

(4) その他

カラーコンタクトレンズ、華美なメイク、吸湿発熱素材の下着(ヒートテックなど)、ウィッグ、かつら
補聴器、カイロ、増毛パウダー・スプレー など